



令和5年7月14日
港湾局技術企画課技術監理室
航空局航空ネットワーク部空港技術課
国土技術政策総合研究所

**港湾・空港等リサイクル推進検討会（第3回）を開催します
～リサイクル材料の更なる利用促進、SDGs 達成への貢献を目指して！～**

国土交通省港湾局及び航空局では、建設副産物及び産業副産物等を港湾・空港等整備における建設資材として利用する際の取り扱いを「港湾・空港等整備におけるリサイクルガイドライン」にとりまとめております。

港湾・空港等工事におけるリサイクル材料の更なる利用促進を図るため、令和5年8月の同ガイドライン改訂を目標とし、令和5年7月19日に「港湾・空港等リサイクル推進検討会」（第3回）を開催します。（今回改訂に向けて最終回となる予定）

【港湾・空港等整備におけるリサイクルガイドライン（平成30年4月改訂）とは】

現段階までに実用化された建設副産物及び産業副産物等のリサイクル技術及び関係法令等の動向を踏まえ、リサイクル材料を利用する際の基本的な考え方、利用手順、用途別の適用技術、関係法令、品質、加工・改良技術等を体系的に整理し、計画・設計等を担当する実務者が、港湾・空港等工事の計画・設計を行う際の参考となるようとりまとめた資料。

https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_fr5_000054.html



【同ガイドラインの改訂に向けた主な検討項目】

・ガイドラインに掲載済みのリサイクル材料の総合評価*の更新

*：品質性能及び利用実績の両面からみた各リサイクル材料の利用可能性の目安を示すもの

・新たなリサイクル材料の追加掲載

等

【同ガイドライン改訂までのスケジュール（予定）】

第3回検討会（今回）→ 同ガイドライン改訂（令和5年8月）

※第1回及び第2回検討会での議論を踏まえ、第3回検討会では、令和5年8月のガイドライン改訂に向けた最終審議を行う予定

記

1. 日時：令和5年7月19日（水）10:00～12:00
2. 場所：（一財）沿岸技術研究センター* 会議室（オンライン併用） *：検討業務受注者（東京都港区西新橋1-14-2 新橋エス・ワイビル5F）
3. 議事内容：リサイクルガイドライン改訂案の審議、リサイクルガイドラインの今後のあり方など
4. 構成メンバー：別紙のとおり
5. その他：

■ 本検討会は、冒頭のみカメラ撮影可能です。撮影を希望される報道関係者は7月18日（火）13時までに、以下のメールアドレスに、氏名（ふりがな）（※フルネーム）、所属、連絡先（電話番号、メールアドレス）をご連絡下さい。当日は、9:55までに新橋エス・ワイビル5Fにお集まりください。

※案内係がご案内致します。

送付先：hqt-ze3uva★gxb.mlit.go.jp（※「★」を「@」に置き換えてください）

■ 会議資料は、後日、国土交通省ホームページにて公開する予定です。

<問い合わせ先>

港湾局 技術企画課 技術監理室 近藤、西岡

TEL：03-5253-8111（内線46613、46632）／03-5253-8681（直通）

国土技術政策総合研究所 港湾情報化支援センター 港湾業務情報化研究室 辰巳、河合

TEL：046-844-5030（直通）

港湾・空港等リサイクル推進検討会 委員名簿

区分	役職	氏名
委員長	東京理科大学 創域理工学部 社会基盤工学科 教授	菊池 喜昭
委員	国立研究開発法人 国立環境研究所 資源循環領域 試験評価・適正管理研究室長	肴倉 宏史
	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 地盤研究領域 基礎工研究グループ長	水谷 崇亮
	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 構造研究領域長	山路 徹
	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 海洋環境制御システム研究領域 海洋汚染防除研究グループ長	井上 徹教
	国土交通省 国土技術政策総合研究所 港湾・沿岸海洋研究部 海洋環境・危機管理研究室長	岡田 知也
関係者	国土交通省港湾局 技術企画課 建設企画室長	浅見 尚史
	国土交通省港湾局 海洋・環境課 港湾環境政策室長	青山 紘悦
	国土交通省航空局 航空ネットワーク部 空港技術課 課長補佐	山岸 陽介
事務局	国土交通省 港湾局 技術企画課 技術監理室	
	国土交通省 国土技術政策総合研究所 港湾情報化支援センター 港湾業務情報化研究室	

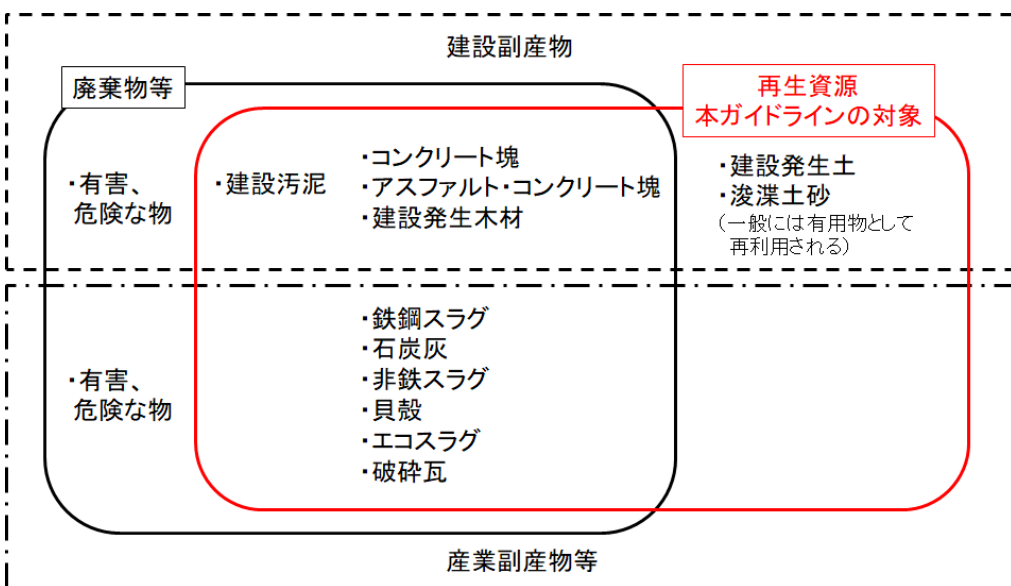
■「港湾・空港等整備におけるリサイクルガイドライン」とは

- 現段階までに実用化された建設副産物及び産業副産物等のリサイクル技術及び関係法令等の動向を踏まえ、リサイクル材料を利用する際の基本的な考え方、利用手順、用途別の適用技術、関係法令、品質、加工・改良技術等を体系的に整理
- 計画・設計等を担当する実務者が、港湾・空港等工事の計画・設計を行う際の参考となるようとりまとめ



港湾・空港等整備におけるリサイクルガイドライン(平成30年4月改訂) https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_fr5_000054.html

■ガイドライン掲載のリサイクル材料



港湾・空港等工事における工種及び用途別に各リサイクル材料の品質性能及び利用実績の両面から評価を行い、総合評価結果を掲載(リサイクル材料の利用可能性の目安を提示)

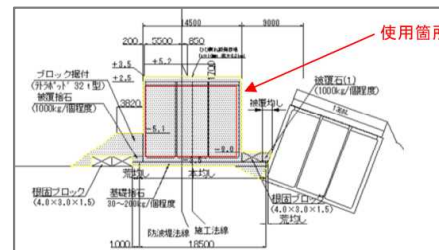
※30種類の材料について、工種(9種)・用途(18種)毎に総合評価を掲載

■リサイクル材料の適用事例

【事例①】

(材料名) コンクリート塊

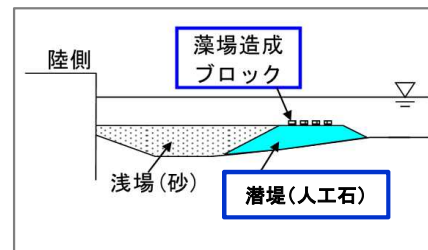
(目的) 被災したケーソン撤去により発生するコンクリート塊等を新たに据付を行うケーソン中詰材として再利用



【事例②】

(材料名) 鉄鋼スラグ二次製品(鉄鋼スラグ水和固化体)

(目的) 直立護岸前面の浅場造成



■同ガイドラインの改訂に向けた主な検討項目

- ガイドラインに掲載済みのリサイクル材料の総合評価*の更新
 - *: 品質性能及び利用実績の両面からみた各リサイクル材料の利用可能性の目安を示すもの
- 新たなリサイクル材料の追加掲載